



## 栄ファーム

オーナー	栄運輸工業株式会社
水田面積	18.4アール
保証量	玄米828kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	「海」
Co2回収	約1840kg

生産者  
三上惇二



7月末から徐々に出始めた穂も、8月10日頃にはほとんどの田んぼで出そろいました。相変わらず雨の降らない日々でしたが、おかげで草刈りやカメムシの防除は捗りました。例年通りお盆を過ぎたら朝晩の気温差が激しくなり、稲もよく熟れ始めました。いいお米になっているか楽しみです。

## 8月の作業内容と稲の状態

### カメムシ防除

カメムシは高温の年に発生が目立ちます。実害としては出穂後イネの籾を吸汁するため、米粒の一部が黒く変色します。精米しても取れることはなく、お米の等級にも影響を及ぼすことがあるため、防除を行ないます。



カメムシ防除

### 草刈り (3~4回目)

田んぼ周辺の伸びた雑草を刈りました。雑草は、カメムシなどの害虫を発生させたり、日当たりや風通しを妨げてしまうため、稲の病気の原因になります。草刈りは手間がかかるうえ重労働ですが、非常に重要な作業です。



草刈り

### 開花と受粉

出穂が始まると、その日のうちに穂の上部の花から次々と開花を始めます。受粉は開花の瞬間に行われる自家受粉で、その時間はわずか数時間。受粉完了後は花を閉じ、再び開くことはありません。あつという間の出来事です。



開花と受粉



小動物侵入防護ネット



8月下旬の稲